

# 電柱等設備所有会社の見分け方（NTT西日本と他事業者）

以下はNTT西日本がかかわる電柱・ケーブル・支線・支柱における基本的な見分け方です。現地の状況により異なる場合もございますのでご了承ください。

## 1. 電柱の見分け方（電柱番号札による見分け方）

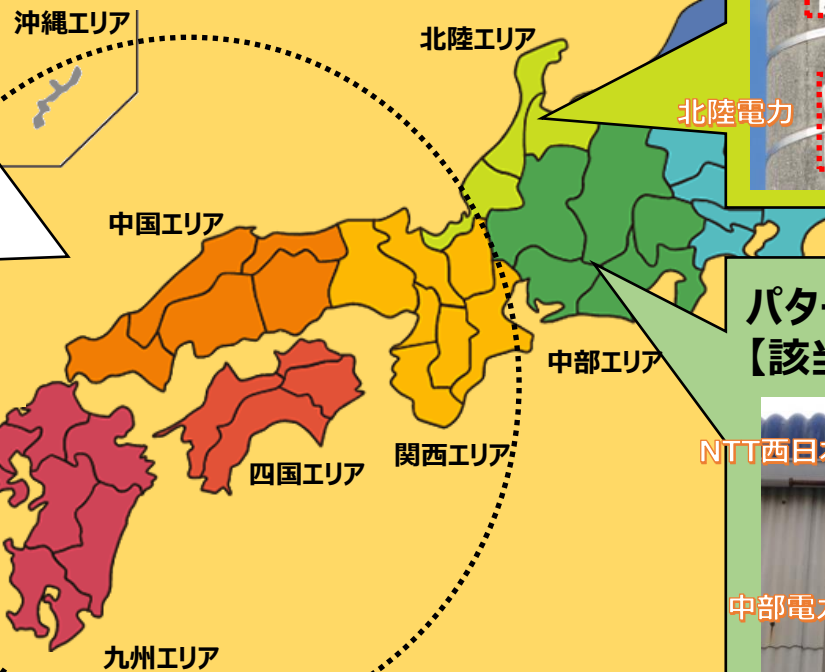
(1) 番号札が1つの場合：付いている番号札の会社※1が所有者（全エリア共通）

(2) 番号札が2つの場合：下図のとおり（エリアごとに差分あり）

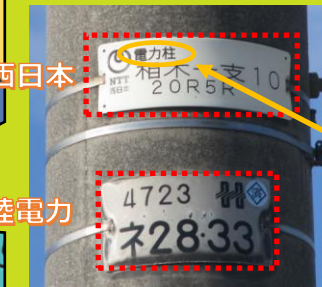
パターンA：上段の番号札会社が所有者  
【該当エリア】関西エリア、四国エリア、  
中国エリア※2、九州エリア、沖縄エリア



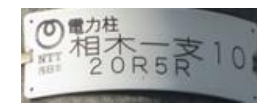
NTT西日本の番号札が上段  
⇒NTT西日本所有の電柱



パターンB：NTT番号札に所有者の表記あり  
【該当エリア】北陸エリア



NTT西日本の番号札に電柱  
所有者の表記あり  
⇒北陸電力柱所有の電柱



パターンC：下段の番号札会社が所有者  
【該当エリア】中部エリア



中部電力の番号札が下段  
⇒中部電力所有の電柱

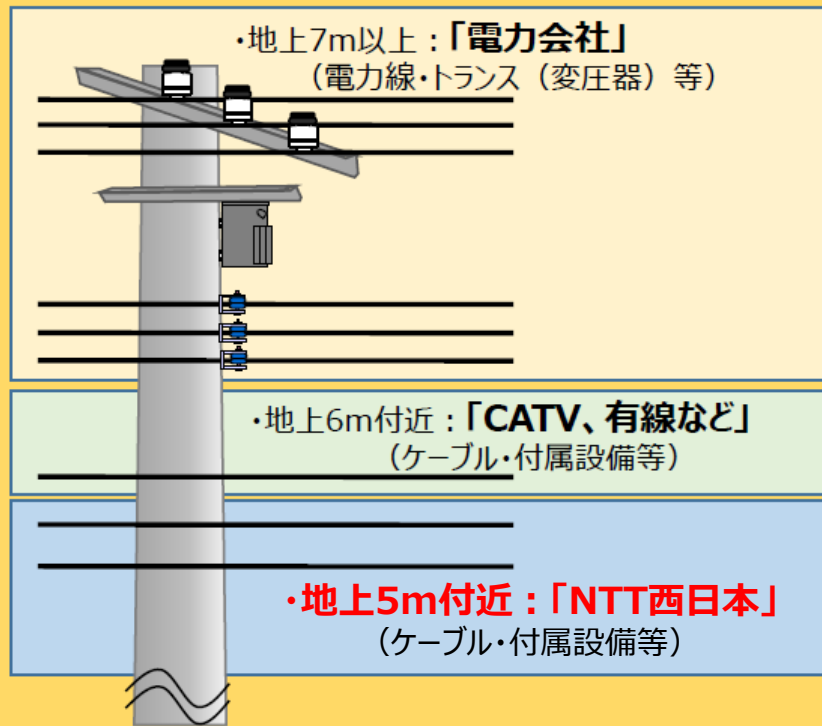
※1：番号札の情報表記（所有者、会社名）が無い場合もございます

※2：中国エリアではNTT西日本の番号札の上に大きな字の番号札を付けているケースがございます

## 2. ケーブルの見分け方

### (1) 電柱のケーブル位置による見分け方

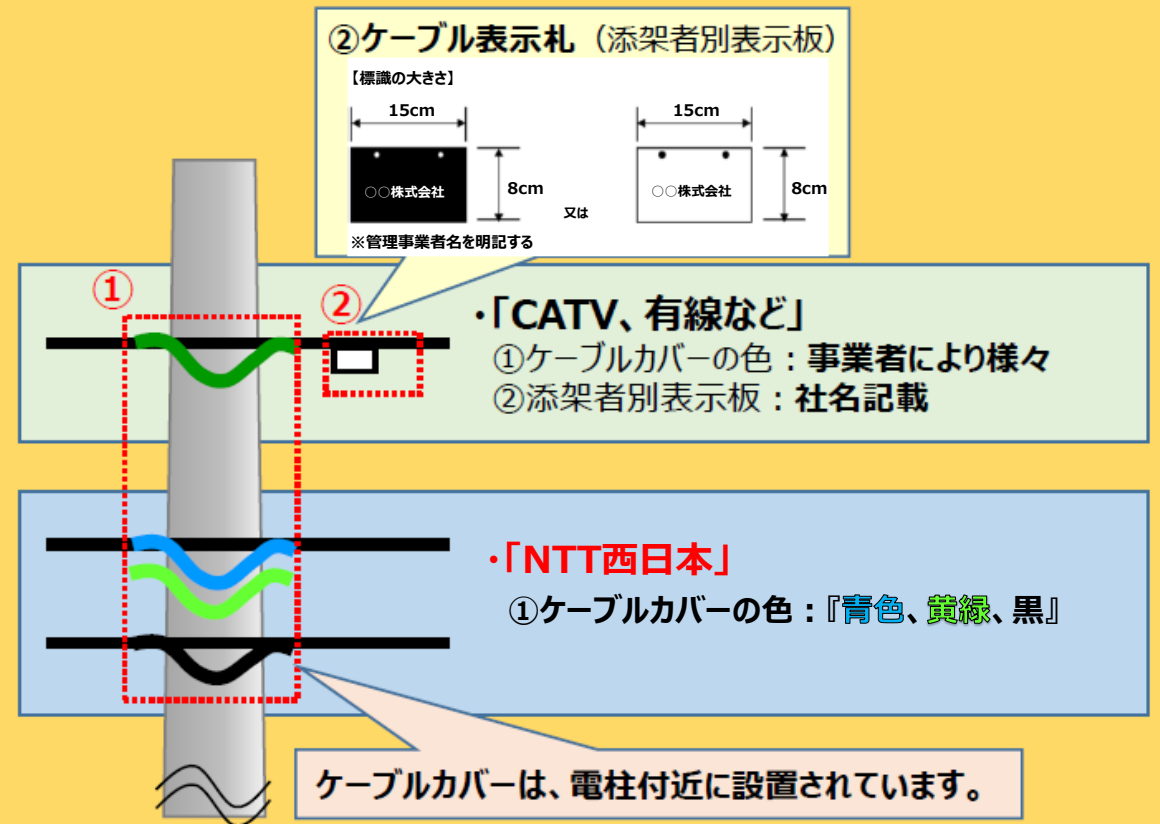
電柱の長さ（高さ）が約12mの場合  
最下段が「NTT西日本」所有



電柱から家屋等へ引き込まれているケーブルも、  
同じように電柱側の高さで見分けられます

### (2) その他の見分け方

- ①ケーブルカバーの色
- ②ケーブル表示札（添架者別表示板）



### 3. 支線・支柱の見分け方

➤ 支線・支柱とは

電柱がケーブルの張力によって倒れるのを防ぐ目的で設置する設備であり、下記2種類の設備がある

- ・支線：ケーブルと反対方向に引っ張る形で設置するワイヤー
- ・支柱：電柱を斜めに支えている柱

➤ 支線・支柱の見分け方

(1) 関西・中国エリア以外のエリア

支柱・支線が支える電柱に対し設置している高さが

- ① 約5mの場合・・・NTT西日本が所有者
- ② 約10mの場合※3・・・電力各社が所有者

(2) 関西エリア

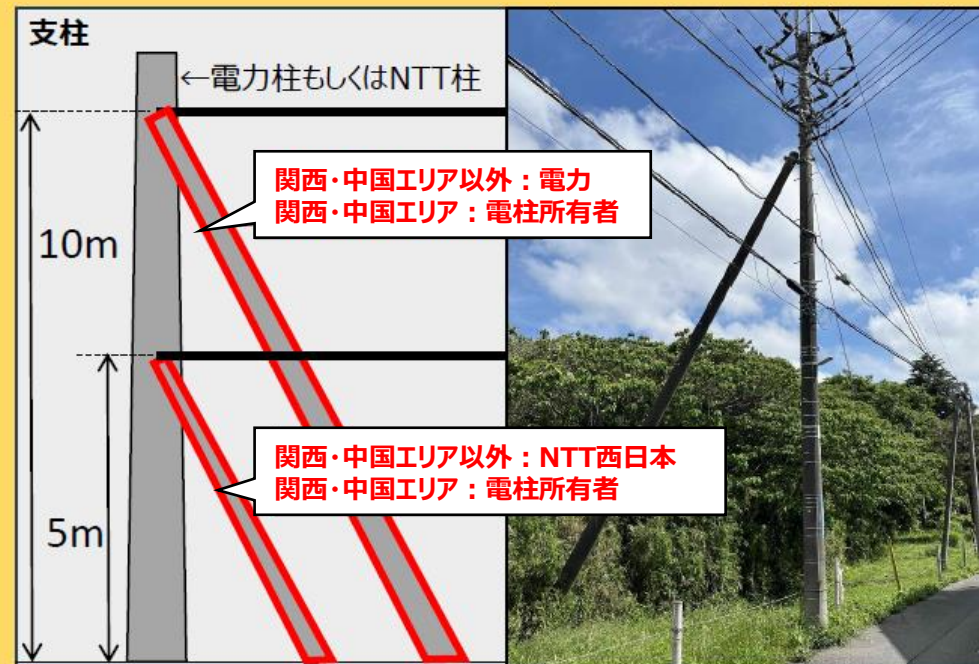
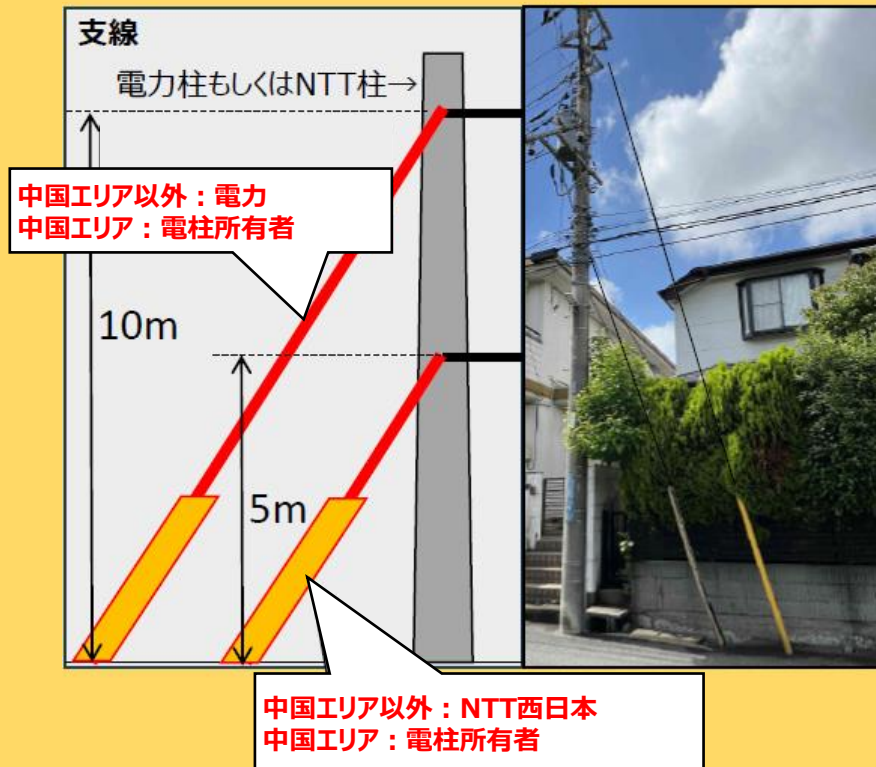
支柱：電柱の所有者が所有

支線：支える電柱に対し設置している高さが

- ① 約5mの場合・・・NTT西日本が所有者
- ② 約10mの場合※3・・・電力各社が所有者

(3) 中国エリア

電柱の所有者が支柱・支線を所有



※3：10m以外の場合もございますので詳しくは各地域の電力会社様へご確認ください